

2023年(令和5年)11月27日(月曜日)



千住金属工業

千住金属工業は、はんだ業界におけるカーボンニュートラルのリーダーディングカンパニーを目指し、低温ソルダリングソリューションを実装業界に広く提案している。同ソリューション

は、シオンは、SAC305などの従来製品よりも融点が約80度低い

i系のソルダペーストや棒はんだ、Sn-Bi系の流動性を改善したフラックス、さらに修正・後付け用のやに

未来を見つめながら次の世代のソルダリングカンプानीとして成長を目標す「MILATE」をRA(ミラテラ)を立ち上げ、広く普及を市場投入した。デュアルモデルの製品化も推進。インバーター向けなどで需要が拡大しているパワー半導体向けはんだ付け材料では、プリフォームを強化し

低温ソルダリングソリューションを提案

白物家電量産プロセスに採用



低温ウェーブはんだ付け装置B1 THUS-Wave MTF-300

(低融点) はんだ付け材料、低温ウェーブはんだ付け装置、実装プロセスの三位一体で提供される。低温はんだ付け材料はSn-Bi

入りはんだまでそろえ、はんだ槽はSn-Bi系低融点はんだで発生しやすいドロスを低減し、基板に付着するドロスを少なくする新たな噴流ノズルを開発した。いずれも市場の要求に依って漸次、改良を進めている。同ソリューションブランドに、から採用されている。

複数の家電メーカーが白物家電の量産プロセスに本格的な採用を始めた。同社のラボを活用して評価試験を依頼するケースが急増する。市場の評価が高まっている。また海外のPCメーカーにも数年前から採用されている。

単層、単層Niボーセル入りなど用途に応じたさまざまなプリフォーム材をリボン形状中心に提供。車載向けでは高信頼性と高密度実装を可能にするソルダペースト「DI-SOL (ディール)」などを拡充している。